

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 3月10日

事業所名 湖北地域障害者生活支援センター あ〜と

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	71%		中庭の整備を行い、砂場や遊具の設置をして安心して遊べる環境を作りました。	今期は隣接するあそしあと作業場を共有し、スペースを広げる事や、特性や学年ごとに場所を分けるなどの環境整備に取り組みました。どちらともいえない21% 無回答7%
	2	職員の配置数は適切である	71%			法令で必要とされる配置数は確保していますが、個別対応のお子様が増えつつある為、十分とは言えないと感じる時があります。どちらともいえない29%
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	86%			新たに整備した中庭への移動について段差がある為、今後スロープ等の整備を検討したいと思います。どちらともいえない14%
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	57%		文章等にて情報共有できるように努めています。	常勤の支援員間は実施できていますが、パート職員にまでは、中々参画を促せていません。どちらともいえない36% 無回答7%
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	79%			今期もガイドラインの評価表を使用し、アンケート調査を実施しました。結果を参考にさせていただいています。どちらともいえない21%
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	57%	14%	コロナ禍による事業所としての方針などを含め、会報を作成し配布させていただいています。	評価結果は法人のホームページにて公開しています。どちらともいえない14% 無回答14%
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7%	29%	第三者ではないが、法人内の監査員の方には評価していただいています。	どちらともいえない43% 無回答21%
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	86%		オンライン研修講座を使用し、定例会議の中でも研修の場を設けました。	コロナ禍で例年のような研修参加は難しかったですが、WEB研修等、可能な限り参加できるよう配慮を行いました。どちらともいえない7% 無回答7%
適切な支援の	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%		定期的にあセスメントを行い、お子様の様子の変化をその都度確認し、個別支援計画を策定しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	71%		個々に応じたアセスメントツールも使用しています。	基本的なアセスメントツールを使用しています。どちらともいえない21% 無回答7%
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%		チームにて月2回の会議の場で検討し立案しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	86%		長期休暇時等は、公民館やホールなど広い場所を借りて活動しています	今期はコロナ禍による活動自粛があった為、同じような活動内容となってしまいましたが、その中でもできる限りメリハリのある活動内容になるよう工夫を心掛けました。どちらともいえない14%
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	93%			目的を持って設定していましたが、今年度はコロナ禍によって、活動メニューが急遽変更となり、できなくなった事が多かったです。どちらともいえない7%
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%		お子様の興味や特性を見ながら、個別活動と集団活動の組み合わせについて、チームで検討し計画作成を行っています。	

提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%		打合せに間に合わない職員には、出勤時個別に伝えていきます。	毎日支援に入る前に支援員の配置、活動内容、留意点などを確認し合っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	36%	21%	記録用紙にて気が付いた点などを記載し必要に応じて話し合いを設けています。	支援員の終了時間が異なる為、毎日終了後に打合せを行うことはありませんが、翌日に振り返りを行い、情報共有を行っています。どちらともいえない43%
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%		記録の着目点が個々によってずれないように、支援計画内容を記録用紙に記載しています。	事実に基づいて記載するように心掛けています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%		3か月に一度はモニタリングを行い、支援の振り返りや今後の課題などを検討し、必要に応じて見直し等を行っています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	57%			チームで検討しながら、様々な活動を組み合わせられるよう配慮しています。どちらともいえない36% 無回答7%
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	86%			サービス担当者会議には児童発達支援管理責任者と共に、現場の担当者も参加できるように心掛けています。どちらともいえない14%
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%		学校行事の開催について確認をし、送迎時間等調整を行っています。学校での様子はお迎え時に先生よりお聞きしています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	29%	36%		医療的ケアが必要な方は現在は受け入れを行っていません。どちらともいえない29% 無回答7%
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	71%	7%		新たに就学されたお子様に関しては、児童発達支援センターからの情報と共に、ご家族の了解のもと利用させている保育園に見学に行き、情報収集に努めました。どちらともいえない14% 無回答7%
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	71%		ご家族の方の了解を得て、移行先事業所へ職員が見学させていただいたり、スムーズな移行ができるように支援内容など情報提供をさせていただいたり連携をとっています。	どちらともいえない21% 無回答7%
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	86%			児童発達支援センターと連携を取りながら、支援にあたっています。どちらともいえない7% 無回答7%
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	7%	50%		今年度はコロナ禍の状況もあり、交流の機会は設けませんでした。要望があれば検討させていただきます。どちらともいえない36% 無回答7%
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	29%	29%	会議内容等は回覧しています。	管理者が参加しています。どちらともいえない29% 無回答14%
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%		6か月に1度は面談を行い、お子様の状況の把握に努めています。	お迎え時には必ず様子はお伝えしています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	14%	36%		ご相談には乗っていますが、ペアレント・トレーニング等の直接支援は行っていません。どちらともいえない36% 無回答14%

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	93%		送迎時にその都度口頭で伝えるとともに、会報によっても伝える努力をしています。	契約時に、運営規定や利用者負担、重要事項の説明などを行っています。 無回答7%
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	64%			相談があればその都度応じ、学校や相談事業所、児童発達支援センターと連携を取るよう努めています。 どちらともいえない36%
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7%	57%		保護者会の開催等はしていませんが、要望があれば機会を検討させていただきます。 どちらともいえない21% 無回答14%
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%			重要事項説明書にて苦情などの受付担当や第三者委員について記載し、契約時に説明を行っています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	64%		細かな準備物やお知らせ等は、お迎え時に再度個別に伝えるようにしています。	行事予定は毎月ご家族へ配布して、また玄関先にも提示しています。 どちらともいえない21% 無回答14%
	35	個人情報に十分注意している	100%			個人情報の記載されたファイル等は鍵付きキャビネットに保管し、事務所は夜間、警備会社と契約しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	93%		翻訳機を使用し、日本語以外での意思疎通が正確に行えるように配慮しています。	個々の状況に合わせて意思疎通が図れるように、スケジュールや写真提示、PECSでのやり取りを行っています。 どちらともいえない7%
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7%	57%		今期はコロナ禍の為、活動を企画しませんでした。が、地域資源の活用は積極的に行っています。 どちらともいえない29% 無回答7%	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	79%	7%	策定し、玄関先にいつでも確認できるように提示しています。	職員・保護者の方への周知は十分ではないように感じます。 どちらともいえない7% 無回答7%
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	86%		隣接する施設と合同で、年2回、避難訓練を行っています。	どちらともいえない14%
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	93%			法人全体で取り組んでいます。今年度はコロナ禍の為、事業所内で研修の機会を設け取り組みました。 どちらともいえない7%
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	86%			個別支援計画に記載しています。その際、説明時に理解を得ています。拘束を行った場合は、その様子を記載し、検討するようにしています。 どちらともいえない14%
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	29%			ご家族からの聞き取りのみです。医師の指示書の提出までは依頼していません。 どちらともいえない57% 無回答14%
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	93%		内容によっては、速やかに職員皆が確認できるよう、書式を変え掲示版にて示しています。	事例集は作成していませんが、共有できるよう必ず回覧をして会議で検討しています。 どちらともいえない7%	

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 3年 3月 10日

事業所名 湖北地域障害者生活支援センターあ〜と 保護者等数(児童数)24 回収数 15 割合 64%

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	87%	13%				
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	100%					
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%					
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	100%					
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	100%					
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	33%	47%	20%			
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	93%	7%			振込用紙で来る請求について、何に使用した金額なのかわからない。	今後は丁寧に説明をしていきます。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%					
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	93%	7%				
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	33%	33%	33%			
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	80%	13%		7%		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%					
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	93%	7%				
	14 個人情報に十分注意しているか	100%					
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	87%	13%				
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	80%	13%		7%		
	17 子どもは通所を楽しみにしているか	100%					

満足度	18	事業所の支援に満足しているか	93%	7%			送迎があればありがたい。	お迎えに事業所へ来ていただく事で、直接様子をお伝えさせて頂き、家庭での様子も聞かせてもらえる良い機会にもなっていますが、ご意見を踏まえ今後検討させていただきます。
-----	----	----------------	-----	----	--	--	--------------	---

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

障害福祉サービス共通評価基準 概評 [各シート共通]

○概 評

①非該当とした項目（放課後等デイサービス、児童発達支援については「いいえ」とした項目）の説明、②独自に必要なと思われる評価項目等、③項目評価を通じて気づいた点などを記入してください。

○サービスの質の向上に向けて取り組む課題

前回までの評価において、サービスの質の向上に向け取り組む課題を設定している場合はその内容と進捗状況を、また、新たに今回の評価によって今後取り組むべき課題がある場合も、その内容を記入してください。

関連する項目	内容および進捗状況	新規 継続 終了	取り組みの期間 (○年○月から○年○月まで)
1	整備をした中庭で安心して遊べる遊具等の設置。	新規	2021年4月～
8	職員の希望に沿った職員研修の開催。	新規	2021年4月～
39	事業所として、同敷地内隣接事業所と協議し、災害時マニュアルの作成を行った。	終了	2020年4月～

サービス改善計画書

策定日：2021年 3月16日

事業・サービス名：放課後等デイサービス

施設・事業所名：湖北地域障害者生活支援センターあ〜と

自己評価項目	評価結果	問題点・課題	改善内容と目標	時期と期間	責任者	備考 (必要な予算等)
4		業務内容の課題・改善等へのパート職員への参画が十分ではない。	周知できるよう文章等にて説明を行う。	通年・随時	速水	
32		父母の会の活動支援、保護者会等、開催はしていない。	まずは要望の有無等の聞き取りを行う。	通年・随時	岸田 速水	